



在任4年間を振り返って

第17代校長 豊野義市

私が、校長として坂野中学校に赴任したのは平成20年4月。校長として初めての中学校であった。坂野中学校での勤務経験がなく、前任の篠原幸雄校長との引き継ぎの際には、いろいろとお話を聴かせていただいた。

平成20年4月1日、校舎内を歩いての第一印象は、「古い校舎だなあ、所々傷んでいるなあ。」と感じた。ところが、教職員や生徒たちによる修理・ペンキ塗りにより、春休みの数日間で見違えるような廊下・教室に変わった。着任式では、「坂野中学校での勤務は初めてです。坂中を大好きになり、皆さんと一緒に誰もが学校に来るのが楽しい、そんな学校にしていきたいと思います。」と話したのを覚えている。

平成21年度は防災教育推進モデル校の指定を受け、南海地震を想定した合同避難訓練を坂野小学校、和田島小学校や多くの関係機関参加のもと実施した。またこの年は、新型インフルエンザが流行し対応に追われた年であった。坂中でも11月中旬に1・3学年が学級閉鎖、2学年は学年閉鎖になった。12月初旬の修学旅行をずいぶん心配したが、全員が参加でき思い出に残る修学旅行になった。

平成22年7月の市中陸上大会では、念願の総合優勝を勝ち取った。前年、最後の男子リレーで逆転され準優勝になった雪辱を果たした。その時の生徒たちの爽やかな顔が、今でも目に焼き付いている。

平成23年10月、県中学校教育研究大会において、本校生徒が勝浦中学校で1年生の国語、小松島中学校で3年生の音楽の研究授業を見ていただいた。

坂中祭は4年間とも印象深い。特に、平成23年度体育祭の百足競争では、3A女子チームが何度も倒れたが、3A男子、3B、3Cの応援により、立ち上がって走る姿に大きな拍手がわき起こった。まさに『仲間がいるから頑張れる』の坂中祭テーマそのものであった。文化祭では、合唱コンクールが印象に残っている。クラス全員の心が一つになった歌声は、体育館いっぱいに響き渡り、聴く人に大きな感動を与えた。さらに3年生の一生懸命さが1・2年生に引き継がれ、毎年すばらしい合唱コンクールになっている。

また、3年生が作成する卒業カードも心に残っている。内容は中学校の思い出と家族へのメッセージである。「産んでくれてありがとう。そしてお世話してくれてありがとう。おかげで卒業できました。」「いつも反抗ばかりしていますが、実はとても感謝しています。夜遅くまで働いて家族を支えてくれてありがとう。こんな母さん父さんの間に生まれて本当に良かった。本当にありがとう。」胸が熱くなったことを覚えている。

坂中教育に情熱を傾けて取り組んだ教職員の皆様、それに応えた生徒の皆さん、ご支援くださった保護者の皆様、地域の方々に心より感謝申し上げます。思い出深い4年間でした。